

岐 阜 医 学 功 労 賞 受 賞 者

年 号	氏 名	受 賞 テ ー マ
平成5年度	磯野日出夫 先生	岐阜県の医療の向上に対して多大の貢献
	永井俊夫 先生	岐阜県の救急医療体制の整備運営に対して貢献
平成6年度	鶴見介登 先生	岐阜県の医療向上にたいして貢献
	時光直樹 先生	永年に亙り飛騨地区医療にたいして貢献
平成7年度	小川亮恵 先生	リウマチ性疾患の診療・研究に貢献
	加藤正夫 先生	岐阜県の医療行政・県民の医療、健康増進に尽力
平成8年度	松永隆信 先生	岐阜県の医療向上のため努力
	平野恭弘 先生	岐阜県の医療行政・県民の医療、健康増進に尽力
平成9年度	山田弘 先生	永年に亙り岐阜県の医療向上のため努力
	臼井弘行 先生	医師を取り巻く諸問題についての技術・知識の向上に貢献
	森次保雄 先生	我が国のビールス性肝炎研究・ワクチンの開発・予防医学に多大の貢献
平成10年度	大沢一郎 先生	岐阜県の医療体制全般に亙る基礎の構築
平成11年度	国枝篤郎 先生	本学の外科学、手術部等において優れた研究と優秀な医師の養成に多大の貢献
	野澤義則 先生	地域医療の発展に優れた業績と医師の養成に多大の貢献
	宮田英雄 先生	本学の移転統合を始め地域医療の向上に多大の貢献
平成12年度	柴山磨樹 先生	「岐阜県肺がん研究会を主催され、各地区で定期的胸部疾患読影研究会及び画像診断検討会等を開催され医療の向上・発展」など多大の貢献
	岩田弘敏 先生	「第57回日本公衆衛生総会会長を勤められ、特に振動病障害に対する診断法を確立され、さらに岐阜県における公害対策・環境評価・感染症予防」など多大の貢献
平成13年度	林幹夫 先生	「各務原市医師会理事20年、開業30年を記念して厚生大臣賞。並びに県下の『不登校児と悩める家族の現状』に20年間熱心に懸かり文部大臣賞等の輝く賞」を受けられ地域医療に多大の貢献
	武内章二 先生	「岐阜大学医療技術短期大学の創設以来、部長としてその発展に努め、四年制の医学部看護学科への改組を導き、また岐阜大学評議員としての活躍」など多大の貢献
平成14年度	井口恒男 先生	「長年の間、岐阜県の地域保健課長、衛生環境部長、保健環境研究所長などを勤め、岐阜県の保健医療行政・公衆衛生の向上に多大の貢献
	大谷勲 先生	「多年にわたり鑑定医として数多く県民の法医解剖・鑑定を行いまた法医学知識の普及に尽力されるなど司法の適正な運用に」多大の貢献
平成15年度	佐治重豊 先生	消化器外科学分野の教育・研究・診療における優れた業績を挙げ、医学・医療の進歩に、又医学部附属病院の維持・運営・発展を通して岐阜県医療の実際、並びに行政の発展に寄与し多大の貢献
	磯貝和俊 先生	岐阜大学各臨床科の立場を高め又泌尿器科診療を通して、岐阜県医療のため多大の貢献
	佐野正純 先生	1957年から岐阜大学医学部同窓会会長及び社団法人岐阜医学研究協議会理事長の重責を遂行され、同窓会・医学研究協議会の発展にご尽力と多大の貢献
平成16年度	檜木良友 先生	岐阜県下における乳がん検診法の普及、臨床研究に基づく乳がん治療の質の向上と後進の育成のため多大の貢献
	坂井昇 先生	多年にわたり脳神経外科分野の発展と脳外科医の育成努められ岐阜県下の救急医療発展のため多大の貢献
平成17年度	太田和夫 先生	岐阜県武儀医師会会長を平成3年4月から平成16年3月まで勤め地域医療の充実に多大の貢献
	星野睦夫 先生	長く揖斐総合病院長(現名誉院長)・外科医として岐阜県の地域医療向上のため多大の貢献

岐 阜 医 学 功 労 賞 受 賞 者

平成18年度	高 木 幸 子	先生	女子医専卒業生の代表として医学部同窓会の活動と地域医療の向上に対して多大なる貢献
	松 下 捷 彦	先生	医学部同窓会の発展及び岐阜県の医療向上、特に飛騨地区の医療に対して多大の貢献
平成19年度	松 田 美 泰	先生	岐阜県の医療向上、特に母子保健対策や県民の健康意識の向上に多大なる貢献
	清 水 勝	先生	永年に亘る岐阜県の医療向上、特にウイルス肝炎の専門家として研究・診療に優れた功績並びに発展に対して多大なる貢献
平成20年度	堀 永 昌	先生	永年にわたる岐阜県の公衆衛生医療向上、特に予防医学において優れた功績並びに医師の養成に多大なる貢献
	蟹 江 匡	先生	永年にわたり岐阜県内の約5千人以上の医療人教育に尽力、特に医師・臨床検査技師・看護師・診療放射線技師の養成に多大なる貢献
平成21年度	村 瀬 恭 一	先生	国立療養所豊橋東病院長、岐阜県立岐阜病院長として医療内容のみならず、医療行政の面でも医療機関の発展に多大なる貢献
	廣 瀬 清一郎	先生	眼科の専門家として研究・臨床及び学生教育に尽力、特に眼科診療の指導的役割をはたすとともに地域の健康管理・予防医学に多大なる貢献
	北 島 康 雄	先生	稀少難治性皮膚疾患の病態・診断・治療法に対する貢献並びに全国初の完全電子化病院と全国最大規模の高次救命治療センターの設置に多大なる貢献
平成22年度	松 波 英 一	先生	社団法人岐阜医学研究協議会の設立に尽力、医学部同窓会並びに社団法人岐阜医学研究協議会の運営発展に多大なる貢献
	二 村 敦 朗	先生	国立病院機構長良病院小児外科に長年勤務され、病院長として発展並びに医療センターの設立に尽力、社会保険診療報酬支払基金審査委員及び委員長を歴任され保険行政に多大なる貢献
	岩 砂 和 雄	先生	永年に亘り医療機関組織のリーダーとして国内の医療・福祉の向上及び岐阜県下の医術・公衆衛生の発展に多大なる貢献
	堀 場 通 明	先生	永年に亘り呼吸器科の専門家として、岐阜県内の気管支喘息治療向上に多大なる貢献
平成23年度	伊 藤 和 夫	先生	神経細胞学とテュートリアル教育の発展に多大の貢献
	清 水 弘 之	先生	岐阜県の医療の向上に対して多大の貢献
平成24年度	下 條 和 敏	先生	心療内科の専門家として地域医療の向上に尽力、同窓会の活動に多大なる貢献
	古 橋 貞 二 郎	先生	恵那地域における「高齢者医療と介護の先進的な取組み」及び介護保険制度発足後12年間の「シンポジウム開催による老人介護普及活動」に多大なる貢献
平成25年度	江 口 孝	先生	国民健康保険事業の発展に尽力し厚生大臣賞、小学校医を長年務め地域医療に多大なる貢献
	松 田 朗	先生	永年に亘る中央省庁での衛生行政を中心としたその維持、推進に尽力
	近 藤 直 実	先生	アレルギー、免疫、分子遺伝学を中心に患者と地球に優しい医学と医療を展開し、地域と地球(世界)に大きく貢献
	渡 邊 邦 友	先生	岐阜大学生命科学総合研究支援センター長として学内共同利用施設の基盤整備に努め岐阜大学の発展に多大なる貢献
	岡 野 幸 雄	先生	生化学及び分子病態学教育の発展並びに岐阜大学の管理運営に多大なる貢献
平成26年度	伊 藤 隆 夫	先生	30年余岐阜市民病院(現名誉院長)に奉職され乳腺外科外来の礎作りに尽力、地域医療の向上に多大なる貢献

岐 阜 医 学 功 労 賞 受 賞 者

	鈴木 大 輔	先生	岐阜県の地域医療の向上に尽力、同窓会活動に多大なる貢献
	松 本 興 治	先生	永年に亘り血管外科医として学術研究と岐阜・愛知県および郷里の地域医療の向上に尽力
	森 秀 樹	先生	岐阜大学学長として大学の教育・研究の発展及び管理運営に多大なる貢献
	石 塚 達 夫	先生	糖尿病・リウマチ膠原病の診療及び研究の総合的展開に多大なる貢献
平成27年度	佐々木 晃	先生	整形外科医療の発展並びに岐阜県の地域医療 特に高齢者医療、小・中学生のスポーツによる疾病に対する医療の向上に多大なる貢献
	渡 辺 佐 知 郎	先生	県立3病院独立行政法人化に努力し岐阜県総合医療センター初代理事長兼院長として三次周産期救急システムの設立を始めとした地域医療に多大なる貢献
	後 藤 紘 司	先生	岐阜大学保健管理センター長として学生、職員の健康管理に尽力、内科医として岐阜県の地域医療に多大なる貢献
平成28年度	安 藤 喬	先生	岐阜市医師会訪問看護ステーションの設立に尽力、介護予防認知症対策、介護保険認定などに委員長として地域医療の向上に多大なる貢献
	小 林 成 禎	先生	電子内視鏡のハレーション除去装置の改良に尽力され特許を取得、日本の消化器内視鏡医学の発展に多大なる貢献
	恵 良 聖 一	先生	分子生理学分野教授として永年に亘り医学・生理学教育の発展並びに医師の養成に多大なる貢献
	江 崎 孝 行	先生	病原細菌の教育に多年にわたり勤め、社会的には国の安全審議員として国民の安全を守るために多大なる貢献
平成29年度	加 藤 稔	先生	永年に亘り飛騨地区の医療の向上に多大なる貢献
	武 久 洋 三	先生	永年に亘り日本慢性期医療協会の会長として日本における医療・介護のより良い連携の推進に多大なる貢献
	東 田 陽 博	先生	神経化学基礎研究の第一人者として優れた業績を上げるとともに自閉症の社会性障害の神経内分泌学的見地による治療法の開発に多大なる貢献
	犬 塚 貴	先生	医学部長として医学教育に尽力、神経内科・老年学研究の発展及び医学部同窓会に多大なる貢献